

～図書室より 利用時間のお知らせ～

冬休み前に借りた本の
返却も忘れずに！

1月 9日(火)からは、通常の開館時間となっています。

開館時間 8:10 ～ 16:30

昼休みも開館しています

2学期より貸出方法が変わっています。

受付カウンターでは、自分の4ケタ番号とお名前をしっかりと伝えてください。

ご協力をお願いします。

読書週間がはじまります！



期間： 1月15日(月) ～ 19日(金)

時間： 朝 8時25分 ～ 8時45分



今年度最後の「読書週間」です。

家から持ってきた本や図書室から借りた本を集中して読みましょう。

じっくりと読書をするチャンスです。マンガ・雑誌・写真集・絵本・教科書・参考書以外の本を準備してください。

図書委員が学級文庫を用意してくれています。こちらもぜひ利用してください。

朝の読書で集中力アップ！ 落ち着いて新年のスタートを切ろう！



2018 新春企画

図書室で本を借りて お年玉をもらおう！



お年玉の配布日と時間： 1月18日(木) 昼休み と 放課後(16:30まで)

お年玉をもらうために必要なこと： 図書室の本を1冊以上借りること

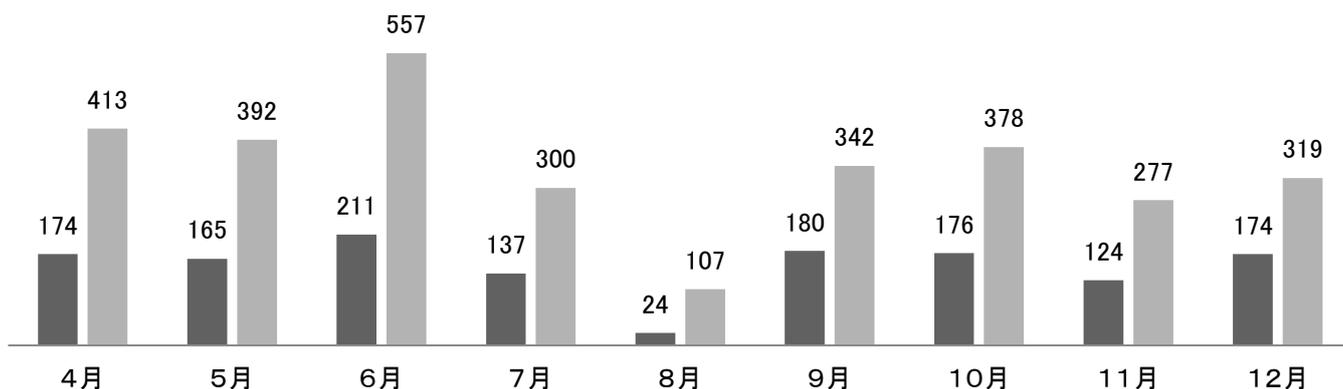
※お年玉は 先着18個 限定 です。(なくなり次第、終了となります)

※お年玉の内容は、雑誌のふろくなどです。詳しい内容は当日のお楽しみです。



図書室利用状況

■貸出冊数(生徒のみ) ■入館者数(授業等含)



上のグラフは、前回の報告(図書だよりNO.6)に、11月と12月の利用状況を加えたものです。

冬休み前の授業での図書室利用がきっかけとなり、12月後半に貸出数と入館者数が増えました。

4月～12月末の総貸出数は1365冊(生徒ひとり平均8.6冊)、総入館者数は3085人となっています。



平安貴族のお正月

平安時代の文学作品にはお正月の様子がさまざまに記されています。当時の正月は現在の2月。梅が咲くころです。

年の改まった元日の朝の空の様子、一点の曇りもなくうららかなゆえ、つまらない家でさえ、雪の消え間に草がいきいきと緑の色を見せはじめ、待ちかねて春らしく立つ霞に、木の芽も萌え出て、それにつれて人の気持ちものんびりとした感じがするものである。まして、玉を敷き並べ美しく磨き立てた六条の院では、庭をはじめとして見ごたえが多く、ふだんより一層美しく飾り立てなされた御婦人がたの住居のありさまは、形容のしようにも、言葉が足りないであろう。

春の御殿のお庭は、特別で、梅の香りも御簾の中の薫物の香りと取り違えるほど、風に吹き匂い、この世の浄土と思われる。

『源氏物語(初音)』より

正月一日は、空の様子も一段とうららかで、改まった感じに一面かすみわたっているのに、世間にありとある人は皆、衣裳や化粧を格別入念にして、主君をも、また自身をも、末長くと祝つたりしているのは、いかにもふだんとは様子が違って、おもしろい。

『枕草子』より

二十九日。大湊に泊まっています。医官がわざわざ屠蘇・白散にお酒まで添えて持って来ました。厚意ある人のようです。

元日。やはり同じ湊にあります。白散があるものが、ほんの一夜の間だけだからというわけで、舟屋形にはさんで置いたものですから、だんだん風に吹かれ吹かれさせて海に落して、飲めなくなっていました。芋茎や荒布も歯固めもありません。

『土佐日記』より

※屠蘇・白散：元日に温酒で服用する薬。厄払いの効があるといわれる。

※芋茎：サトイモの茎。

※歯固め：昔、正月の三が日に寿命を延ばすためと称して食べた物。



参考図書：『源氏物語 第4巻』『土佐日記』『新版 枕草子 上巻』(いずれも角川ソフィア文庫)